成木小学校創立30周年記念　成木今昔物語　⑤

2025.9.1
文責　鈴木　基

＜第1回　成木村のあれこれ　昔あったもの＞

明治２２年（1889）に成木地区にあった上成木村上分・上成木村下分・下成木村上分・下成木村下分・北小曽木村の５つが一つになりました。そのことは第２回で述べましたが、村の中はどう変わっていったのでしょうか。

【成木村役場】

成木村の誕生に伴い、落合橋の北側（現在の５丁目　消防団詰所の位置）に成木村役場が建てられました。建設年は定かではありませんが、明治２８年の記念写真が残っています。成木村が青梅市と合併する昭和３０年まで使われていました。

【成木中学校】

昭和２２年に学制改革があり、成木村立中学校が創立されます。当初は成木小学校の一部を利用しましたが、次の年に村役場の横（今の市民センターあたり）に新校舎ができました。写真で見る限り、グラウンドは昔のままのようです。昭和３０年に成木村が青梅市と合併したことで、第７中学校と名称が変わり、昭和５１年（1976）夏に現在の場所に移転しています。

【成木銀行】

明治時代に成木には『成木銀行』があったそうです。いつ創立されたかについては、様々な説があります。

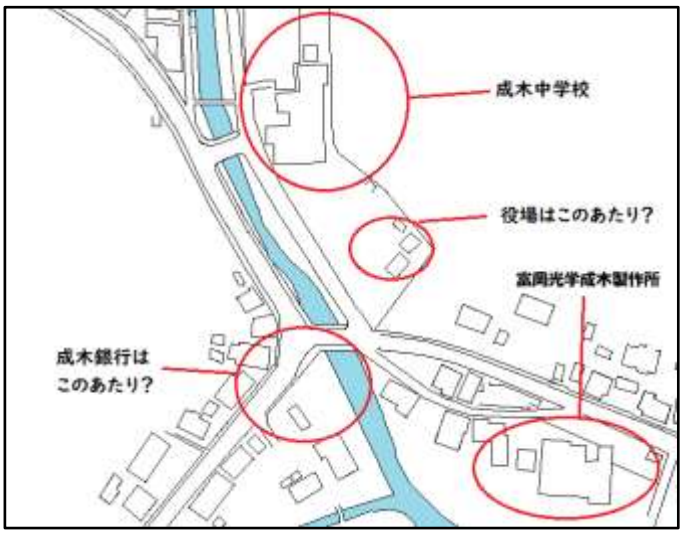
明治２８年（1895）…新たなる出発　青梅市立成木小学校
明治３３年（1900）…青梅の金融史　あおしん創立１００周年
…回せ地域経済～江戸・明治の町田の金融史

場所は現在調査中ですが、当時青梅宿あたりには青梅銀行が同時期に創立されて、成木にも銀行が同じようにできたのには驚きです。創立当時は、金融ブームのようなことがあったそうです。その後昭和２年（1927）に武陽銀行と合併するまで続いたそうです。

【富岡光学成木製作所】

富岡光学は、現在の「京セラオプテック」です。戦前はカメラレンズを、戦時中は軍用レンズを作っていました。青梅には昭和１９年に霞村（都立誠明学園の位置）に工場を疎開させたことが始まりです。さらに小曽木地区へ一部工場を移しています。戦後は、小曽木で「富岡光学機械製造所」の操業を開始し、合併を経て東京青梅工場として現在も操業しています。

成木には「富岡光学成木製作所」があり、昭和３８年の求人広告が残されています。あった場所は上成木下分６８８で、今の成木保育園の場所あたりです。



【出典】多摩川・成木の歴史と成木川1998　常盤むかし話　2004
青梅市文化財ニュース第 360 号2017.10.15
青梅市史資料集第48号　都下村落行政の成立と展開1998
【監修】地域講師　若林　博司　　成木五丁目自治会長　井上　哲男